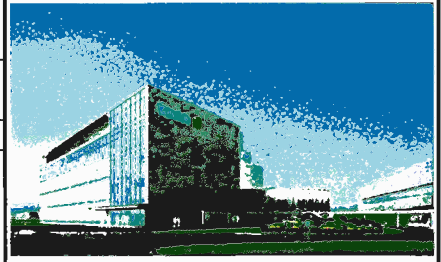


# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.5)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	(仮称)タツタEMセンター建設工事	階数	地上5F
建設地	京都府木津川市州見台6-5-1、5-2	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	130人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	7,200時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年4月10日
敷地面積	44,911㎡	作成者	小坪忠彦
建築面積	1,837㎡	確認日	2012年6月8日
延床面積	6,231㎡	確認者	小坪忠彦



**2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)**

**BEE = 3.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

**2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)**

標準計算

① 参照値: 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

② 建築物の取組み: 73%

③ 上記+②以外の: 73%

④ 上記+: 73%

**2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)**

**2-4 中項目の評価 (バーチャート)**

**Q 環境品質** Qのスコア = 4.1

**Q1 室内環境** (Q1のスコア = 4.1)

**Q2 サービス性能** (Q2のスコア = 4.1)

**Q3 室外環境 (敷地内)** (Q3のスコア = 4.1)

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.9

**LR1 エネルギー** (LR1のスコア = 4.3)

**LR2 資源・マテリアル** (LR2のスコア = 3.6)

**LR3 敷地外環境** (LR3のスコア = 3.8)

<b>3 設計上の配慮事項</b>		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
施設としては従業員が快適・安全に作業できるよう配慮し、敷地として周辺環境に配慮した計画を行なう。		0
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>
工場施設として、従業員の快適な作業空間を確保する。	建物の維持管理のしやすい計画を行なう。	従業員の安らぎの確保、及び周辺地域に対しても良い環境を確保するような計画を行なう。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
省エネルギーに配慮した計画を行なう。	資源を極力消費しない計画を行なう。	地域の環境の改善に役立つ計画を行なう。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される